

社会福祉法人 種の会 もみじやま保育園
〒164-0001 中野区中野 1-58-9 (仮園舎)
Tel 03-3365-0602
ホームページ URL <http://www.tanenokai.jp/>

Momijiyama
ArteKodomotoki
えんだより



コロナ禍で、ようやく登園となった新入園児さんにも笑顔がみられるようになりました。つくし組の赤ちゃんは、親しくなった先生へ両手を広げて抱っこを求めています。保育園で子どもと密接な関係を持たずに信頼関係を築くことはとても困難です。日々のふれあいを通して関わりあい、心を通わせ信頼へとつながっていきます。

誕生会の劇では、何が出てくるのかと少し不安な気持ちで見ているすぎのこ組の女の子が、そっと友だちの背中を触っていました。触れ合うことで安心感を得ていたのでしょう。

人は人とふれあって生きています。子ども達は触れ合うことを本能的に求めます。人間として一番大切なことを知っているかのようです。保育園には、それぞれが興味を持ったことや関心のあることを探求し、夢中になって遊び、仲間と一緒にホンモノの体験を通して学びながら共に育っていく生活環境があります。

ポストコロナで「新しい生活様式」が示され、働き方も多様性と変容が求められています。大人社会ではICT化が進み、教育界でも加速しつつあります。ICTがオンラインとリアル両方の人とのつながりを豊かにするという考えですが、乳幼児期はリアルがより重要ではないかと思っています。この夏は、感染症と熱中症、また災害などにも留意していく必要がありますが、人と関わりあう生活で共に過ごす時間を大切にしながら、夏の楽しみをみんなでみつめていきたいと思っています。

明日の自分へ～子どもが成長する時～

友だちの手をぎゅっと握って玄関へ入って来たのはあすなろ組の男の子。手を離したらパ～っとどこかへ行ってしまいそうな友だちの手をしっかりとつないでサポートしていたのです。友だちを思う気持ちが、お兄さんとしての自覚となり、持ち味を発揮していました。頼られることでお兄さんお姉さんとなる姿は、家族に甘える顔と違いどこか誇らしげです。

休園中に配信した動画の劇を誕生会で実際に先生達が演じると、ネズミくんのダンスに「先生上手すぎる！」と子どもから声が漏れました。大人への憧れは自分もそうなりたいと願う気持ちとなり、何度も見て覚えたダンスは、ぼぶら組が演じる同じ劇で披露しました。

子どもは、明日の新しい自分を自分で創りだそうとします。保育者の私達は、その育ちを支える役目をしっかりと担っていききたいものです。

新園舎も完成に向かって建築が進んでいます。ぼぶら組さんでは新しいクラスの名前を考えるプロジェクトが進行中です。命名の大役にワクワク！「これはどうかな？」と対話を重ねる子ども達。先生がファシリテーターとなり、みんなで話し合いながらステキなクラス名をつけてもらうことになっています。どんな名前になるかな？楽しみです。

園長 山田 ひさえ





お知らせ

マスクの着用について

幼児クラスのマスク着用と管理にご協力下さりありがとうございます。園外（園庭）、食事、午睡、おやつ時のマスクの取り扱いに子ども達も慣れてきましたが、暑さが厳しくなり、マスクの着用が不快に感じることも多くなってきました。室内でのマスク着用は続けていきますが、暑さ対策にも取り組んでいく必要があります。感染症と熱中症のリスクを考慮し、状況に応じて対応していきます。

土曜保育利用者の方へ：7月より毎月、登園確認表の提出をお願い致します。

用紙は前月の中旬に担任よりお渡しします。

給食の予約数管理のため、夏休みの予定（7月～9月）が決まりましたら担任にお知らせください。職員も交代でお休みをとりますのでご協力をお願い致します。

自粛期間は終了しましたが、園だよりは引き続きホームページにもUP致します。



July 7 2020						
sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
			1	2 音楽あそび	3 危機管理訓練	4
5	6	7 七夕 発育測定	8 プール開き 中止	9 音楽あそび 0歳児健診 全園児健診予備日	10	11
12	13	14 運動あそび	15	16 音楽あそび 0歳児健診	17	18
19	20	21 運動あそび	22 7月の 誕生会	23 海の日	24 スポーツの日	25
26	27	28 運動あそび	29 避難訓練	30 音楽あそび	31	



つくし組



こんなふうに過ごしています

6月から再スタートしたつくし組。子ども達はお父さんやお母さんと離れ、不安で泣いてしまったり、緊張して眠れなかったりしていましたが、少しずつ、それぞれのペースで園の生活にも慣れてきています。嬉しいことがあると、ニコッととびきりの笑顔を見せてくれます。「私も抱っこして～」「いやだよ～」「こっちに来て～」と泣いたり、怒ったりと様々な感情を出して甘える姿も出てきました。



高月齢の子ども達は、ハイハイや伝い歩き、歩行ができるようになりました。自由に室内を動き、気に入った玩具や興味のあるものを見つけて遊んでいます。鏡に写っている自分の顔やお友達の顔に気づき、触れたり、笑いかけてみたり、何とも可愛らしい姿です。



低月齢の子どもは、腹這いの姿勢で興味ある玩具に自ら手を伸ばしてつかんだり、つかんだ玩具を振って鳴る音を楽しんだり夢中になって遊ぶ時間が増えています。

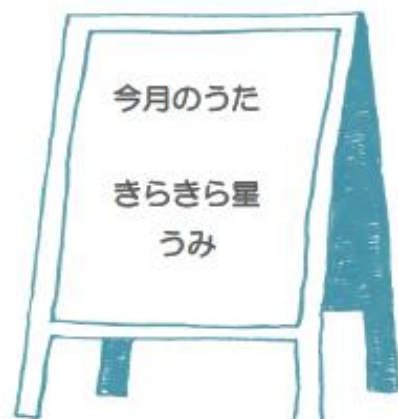
みんな、食べるのが大好き。保育士が準備を始めると、食事コーナーの方に集まってきます。カミカミ、モグモグととても意欲的に美味しそうに食べてくれています。午睡は、まだ途中で目が覚めてしまうこともありますが、保育士に抱っこされ、体をさすられながら安心して眠ってくれるようになりました。



YUMMY



高月齢の子ども達は1歳児クラスの子ども達と一緒に活動する時間も作っています。1歳児クラスの子ども達が氷や寒天で遊んでいるのを見て少しずつ手を出していました。最初は興味を示さなかった子どもも保育士が触ってみせると恐る恐る指で触れて感触が楽しかった様子。手のひらで触ってみたり、握ろうとしてみたり積極的に遊び始める姿がみられました。来月は水遊びも取り入れていく予定です。



今月のうた

きらきら星

うみ

ねむのき組

冷たい、気持ちいい、夏の感触遊び！

長いお休み明けで、久々に登園した子ども達。はじめは保護者の方と離れるのが不安で泣いてしまう子どももいましたが、保育者と一緒に活動をする事で遊びに夢中になり、安心して過ごせる時間が増えました。

氷の感触遊びでは保育者が冷たいねと声を掛けると、Hさんも氷の冷やりとした感触に「冷たい。」と笑顔で応えていました。



氷を掴んで、滑らせ、容器に入れて、ついに氷が溶けるとKさんは「お水！」と指を差して伝え、最後はその指先がふやけるまで存分に楽しみました。



・色のついた夏の感触遊び

次に、氷と寒天の感触の違いを楽しむ為に寒天遊びをしました。寒天が入った容器を置いておくと、子ども達は興味津々で手を伸ばします。表面だけを指で触ったり、寒天の中に両手を入れたり、お友達が触っている様子を見ていたり反応は様々でした。



感触遊びでは、沢山の発見がありました。夏はまだまだ始まったばかり。これからも子ども達の好奇心をくすぐるような遊びを一緒にしていきたいと思えます。



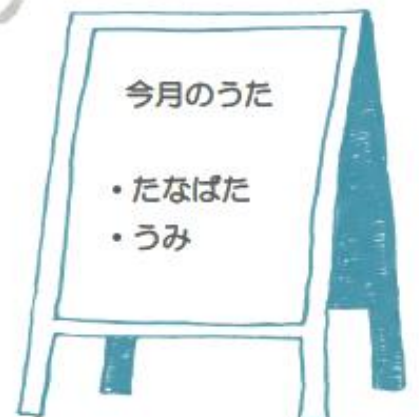
何種類か色を用意しました。Sさんは黄色と緑と青の寒天のみを容器の中に入れてあります。自分の好みが出てきて色へのこだわりもみられるようになってきました。

二回目の氷遊びでは氷にも色を付けました。大きな模造紙を出しておくと、子ども達はその上に色付き氷を乗せていきます。子ども達は何度も氷を滑らせて紙に色がついていく様子確かめていました。



今月のうた

- ・たなばた
- ・うみ






もみのき組

ぼくの、わたしの

長い休園期間が明け、元気な姿で登園してくれた子どもたち。保育者が朝の支度をしようとする、「自分でやる！」と言い、保育者と一緒に朝の支度を行っています。ノートを出して…タオルをかけて…気付くと朝の支度があつという間に終了！“自分でやりたい”という気持ちがだんだん大きくなってきました。

そして今月から持ち物として新たに加わったコップ。「新幹線のコップだよー！」「キティちゃん可愛いでしょ！」と毎日嬉しそうにしています。お気に入りのコップで飲むお茶は、特別美味しく感じるのでしょうか。



どんな気持ちかな？

公園で遊んでいた時の出来事。虫探しや枝集めなどの自然遊びが大好きな子どもたちは、お友達と石や枝を集めて楽しんでいました。そのとき、お友だちと喧嘩をしまい、悲しくなって泣いてしまった子が…。「どうしたの？」と駆け寄ったり、頭をなでて「大丈夫？」と優しい言葉をかける姿があったのです。楽しい気持ちや悲しい気持ちなど、相手の気持ちにも少しずつ気付けるようになってきました。



いよいよ夏本番！

暑さも本格的になり、夏ならではの遊びが楽しい季節になりました。子どもたちの興味に合わせて、ワクワクするような夏の遊びをいくつか紹介します！



【色水・かんてん遊び】

好きな色の玩具で遊んだり散歩中に様々な色を見つけて歩いたり、「色」に興味を持っている子どもたち。そんな「色」をテーマに、色水やかんてん遊びを楽しみたいと思っています。お友だちは何色が好きかな？混ぜたらどんな色になるのかな？

【氷でお絵かき】

色の付いた氷を使って、ダイナミックにお絵かき！絵を描きながら氷の冷たさを感じたり、溶けていく様子を観察するのも楽しいですね。



【泡遊び】

フクフクとたくさん泡を作って泡遊び。泡の感触を楽しんだり、飲み物に見立てて遊んだり…。水遊びとはまた違った楽しさがあります！



今月のうた

たなばたさま

トマト

すぎのこ組

久しぶりの保育園は、楽しいねっ

☆2人1組で行う、運動あそびをしました。
複数の三角コーンにのせているバトンを取り、縄に通して
いきます。お友達と二人で一緒という点も嬉しいようで、
にこにこ笑顔でスタートです。



AくんとBさんは息ピッタリ！Aくんが全ての
バトンをコーンから外し、Bさんが受け取ったバ
トンを全て、縄に通します。2人の中で、自然と
役割分担が決まっていました。



C君くんとDさんペアは、お互いの思いがぶつかり
ました。2人とも、自分が全部やりたい！Cさ
んが、バトンに触れた途端、Dくんは大声で泣き
出しました。Cさんは少し困った顔で考え、Dく
んにバトンを渡しました。でも、半分は自分もや
りたいと思ったのでしょう、後半は泣いているD
くんの事を気にしつつもバトンを取って縄に通
していました。





Eくんは、ペアのFさんに全てお任せで、一緒に
 走ることで十分嬉しいようです。

みんなで一緒に作ったよ

色々な子どもがいて、様々な気持ちの関わり
 合いがあります。自分の気持ちを主張する
 ことも、少し我慢して譲ってみることも子
 ども達にとっては大切な経験です。運動あそび
 は、体だけではなく心の成長も促します。



夏の遊びも楽しんでいます。もうすぐ、7月7日！朝の
 お集まりでは「たなばたさま」を歌っています。七夕につ
 いて聞いてみると、「知ってる〜」「お歌うたったもんね〜」
 と、得意顔です。保育者が「天の川って星がいっぱいで綺
 麗なんだよ」と話すと「いっぱいのお星様も見てみたい！」
 と、リクエストが！ 子ども達と天の川を作ってみるこ
 とにしました。筆や手を使って、絵の具を透明シートに塗
 っていました。最初は、じっと見ているだけの子ども数名
 いましたが、お友達の楽しそうな様子を見て、自ら手をの
 び触れてみる姿がありました。大きな天の川を廊下の天井
 に飾ると嬉しそうに見上げていました。

今月のうた

- ・七夕
- ・水鉄砲
- ・うみ

あすなる組

「みんなと一緒に楽しいな～」

久しぶりの保育園、久しぶりの友達にドキドキワクワクが止まらないあすなる組さん。ご家庭で過ごす2ヶ月間を経て、子どもたちはひとまわり大きくなったように感じます。

新型コロナウイルス対策に伴い給食の食べ方、室内での過ごし方を話すと「せんせい、使ったコップは洗うんだよね？」と子ども自身で意識する姿が見られました。



レゴブロックでお家を作りはじめると、数人が集まって「ここは引っ越しできるようにしたら？」 「トイレつくろ！」と話し合いながら1つの家を作っていました。とにかく友達との関りが楽しく、笑顔が溢れています。自分の気持ち、相手の気持ちを知りながら一緒に時間を共有しています。



「なんで?どうして?こうしてみよう!」



暑さが増す6月、園庭で水を使った遊びができないかと水車づくりを提案しました。土台やプロペラをペンで装飾、ストローを取り付けたところで気が付きます。「フーって息をかけたらまわった!」「え?ほんと?やってみる!」子ども達は、水を使わなくてもプロペラがまわるという発見をしました。

いざ水を使って水車をまわしてみます。水をかけて、水車がまわると思いきや・・・水車がうまくまわりません。「なんでまわらないの?」何度も挑戦します。「お水が多いんじゃない?」「もっとゆっくり入れてみる?」試行錯誤をして、水の量、水をかける位置が関係している事が分かりました。謎が解けたときはすがすがしい表情をしていました。



今月のうた

- とんでったバナナ
- うみ



ぽぷら組



お友達に会えて

うれしいでチュウ♪

久しぶりの保育園でぽぷら組には元気いっぱいの声が響き渡っています。

休園中に園のホームページで配信された歌を口ずさみ、動きを再現して遊ぶ姿が見られました。そこで、『ねずみくんの誕生会』の動画をみんなで一緒に鑑賞しました。

「ぼく、ねずみくんやりたい！」
「誕生会でやってみたいな。」などの反響がありました。

子ども達の声を受けて誕生会で映像作品を作ることが決まりました。曲を流すと自然と歌や踊りが始まって、セリフや動きも再現していました。

カメラが回るとちょっぴり緊張の様子でしたがお友だちと一緒に前に出て思い思いに表現を楽しみました。

出来上がった動画をみんなで鑑賞し、感想を聞くと「イイ感じ!」「面白い!」と満足気な子ども達でした。「またやりたい!」と、すでに新たな映像作品に挑戦中です。



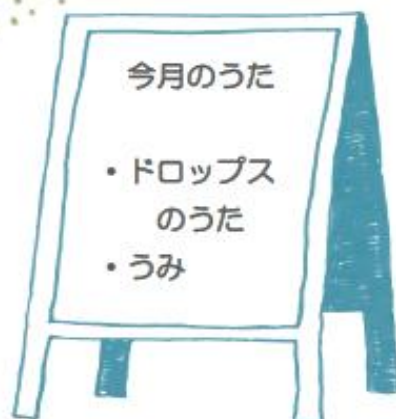
子ども達は手先の細かい遊びの中で集中して取り組む姿が見られるようになってきました。磁石と砂鉄を使った遊びや、スライムを使った感触遊び、スズランテープで三つ編みや四つ編み（パラコード）など、難しい事にも挑戦して楽しんでいます。



勢いよく磁石にくっついていく砂鉄を見て「掃除機みたい」と大喜び！塊を触ると「ふわふわで綿あめみたいでしょ」と、砂鉄という素材ひとつから色々な発想が広がります。「これは磁石つかないんだよ」と付くものと付かないものも発見していました。



今後も雨天が続くことが予想され、室内で過ごす事が増えるので室内遊びも楽しんでいきたいと思います。





7月のほけんだより

もみじやま保育園 保健室

日に日に日差しが強くなり、心弾む夏がやってきました。
元気そうに見えても、体は意外と疲れています。おうちではゆったりと過ごせるようにご配慮ください。

体調OK? チェックリスト

子どもたちの大好きな水遊び。
元気に楽しくあそべるよう、毎朝の体調
チェックをお願いします。

- 熱は何度ですか?
37.5℃以上が、水遊びができない目安
としています。
- 食欲はありますか?
水遊びはとても体力を消耗します。しっ
かり食べてきてください。
- 前日、よく眠れましたか?
- 目やにや充血はありませんか?
起床時以外に昼間も目やにや充血が見
られるようなら、結膜炎のおそれもあり
ます。眼科受診してください。
- せき・鼻水は出ていませんか?
症状のある場合は、水遊びは出来ませ
ん。
- 皮膚に異常はありませんか?
傷やただれがあって乾燥していない場
合（絆創膏が必要な傷）は、水遊びはで
きません。
- 爪は切っていますか?

気になることがありましたら保育士、看護
師にお声かけ下さい。

気をつけよう! 夏にはやる病気

夏に気をつけたい感染症。代表的な3つ
について、主な症状を挙げてみました。
水遊びをする事が出来ません。気になる
症状が見られたら、すぐに病院へ!

ヘルパンギーナ

高熱とのどの痛
み。特にのどは、
水ほうや潰瘍がで
きるため、かなり
痛む



プール熱

(咽頭結膜熱)
高熱とのどの痛
みの他、結膜炎の
ような目の症状
がでる



手足口病

手のひらや足の
裏、口の中に小さ
な発しんや水ほう
ができ、熱が出る



今月は水遊びが始まるよ!

プール前健診 7月9日(木)
●* 健診未受診のかたは、受診をお願
いします。

発育測定 7月7日(火)

1年のうちでも5~9月は
紫外線の多い時期です。
外に出るときは、必ず帽子を
かぶるようにしましょう。
熱中症に関しては、掲示をご
参照ください。ご不明な点は
看護師までお願いします。

帽子をかぶりましょ

食育だより

2020年7月

7月は、熱中症の発生数が急増します。新型コロナウイルスの出現に伴い今年の夏はこれまでとは異なる生活環境下ですが、十分な感染症予防を行いながら、これまで以上に熱中症予防にも心掛けましょう！

熱中症予防のポイント！

こまめに水分補給をしましょう
 「のどが渇いたな」と思った時には、すでに体内の水分が不足しているという注意信号です。こまめに水や麦茶を飲みましょう。たくさん汗をかいた後は、スポーツドリンクなどで塩分補給も忘れずに！



「臭いからヤダ〜!」なんて言わせない。健康ヒーロー!



僕はピーマンマン トップクラスの健康野菜！

ビタミンC はトマトの4倍!! 熱にも強い**ビタミンC**だ。免疫力を高める**カロテン**もたっぷり! 風邪ウイルスを撃退する作用もあるんだ! 独特の匂いは、**ピラジン**っていう血の流れを良くするはたらきがあるんだぞ! どんどん食べてくれ。色が濃く、艶と張りがあって切り口がみずみずしいものをチェック! 形はいびつでも味はOKさ!

野菜が好きになる工夫



*食べやすい調理で

柔らかく煮たり、とろみをつけたりして舌触り良く食べやすくしてみましょう。

*味つけは薄めて、だしをきかせて

少量のカレー粉やケチャップなどを使って味つけを変えてみてもいいですね。

*形を変えて楽しく

星型やハート型に型抜きして、見た目楽しく、食べたい気持ちになれますね。



***家族で一緒に食べる** 美味しそうに食べる姿をみると、自然と食べてみたくなります。

***家庭菜園で野菜作り** 一緒に野菜を育てて収穫したものを食べてみましょう!

『子どもの偏食・野菜嫌い』『保育園の食事&健康だより』食べもの文化編集部編 (芽ばえ社) 参考

Atelier



美しい色水の入ったペットボトルを乳児クラスのテラスに並べてみました。子ども達はどんな風に興味を持って関り、遊ぶのでしょうか。



4歳児クラスのAさんはテラスの床板1枚に1本のペットボトルを並べて遊んでいます。そこへ同じクラスのCさんが現れて、端から倒し始めました。気がついたAさんは怒りました。

「なんで倒しちゃうの、せっかく並べてたのに！」
二人とも大きな声を出し、ペットボトルを引っ張り合っています。保育者が入り、お互いの気持ちを伝え合いましたが、Cさんは怒ってその場を離れていきました。



気を取り直して、再び並べ始めたAさん。やっと完成しそうになったところで1歳児クラスのTくんが反対側から倒していることに気がきます。

「あっごめん、倒さないでくれる？」
先程とは違う優しい口調です。それでもやめないTくんを見て、彼女は一緒にペットボトルを倒して遊びはじめました。





今度は1歳児のMくんが来てAさんの並べたペットボトルを倒し始めます。Aさんは何も言わず倒されたペットボトルを直します。すると、先程まで倒す専門だったTくんがAさんを手伝うように並べ始めたのです。



「うまい、うまい」Aさんは手を叩いてTくんを褒めました。並べては倒す遊びを2人で繰り返して楽しめます。次は色を分けて並べます。すると、Tくんは赤色のペットボトルを手にとって「きゅうきゅうしゃ」とはじめてAさんに語りかけました。



2人でお片付けをして、Aさんはクラスに戻って行きました。Tくんは、しばらく室内に入らずテラスにいたようです。Aさんが戻ってくるのを待っていたのかもしれませんが。

子どもは子ども同士の関わりの中で成長する。小さなお友達の気持ちに寄り添ったAさん。受け止めてもらい安心して一緒に遊ぶTくん。あたたかな異年齢児の関わりをみることができて、心が清々くなりました。

